



左より日本IDバレーボール連盟事務局長 鈴木 常義さん、事務局 加部 務さん、東京都選抜監督 梅沢 浩太さん。

**高度な戦術は視覚で
確実に共有する**

現在のIDバレーボールは、ネットの高さが少し低い点を除けば、一般のバレーボールと全く同じルールで行われます。近年は戦術的にも高度化し、東京都選抜も都内の私立高校と練習試合を行い、対等に渡り合うほどの実力を持っています。

こうした高度なプレーをチーム全員で共有するために、指導現場では独自の工夫が凝らされています。

「複雑な動きを言葉だけで伝えるのは難しいため、ホワイトボードや色分けした

「選手たちは本当にバレーが好きで、自らスポーツジムに通うなど高い意識で取り組んでいます。こうした彼らの姿をより多くの方に知ってもらえるよう、我々もインスタグラムでの発信も始めました。地元の企業やサポーターの方々

大きな大会に備え、東京都選抜の選手たちは仕事や学校と両立しながら、限られた時間の中で日々トレーニングに励んでいます。

8月の全日本IDバレーボール選手権大会では、各ブロックの精鋭チームが集結します。東京は王者としてマークされる立場ではありますが、和歌山や兵庫といった強豪がひしめく近畿ブロック、そして民間スポンサーがつくなど強化の進む佐賀といった強敵が揃うため、一戦も目が離せません。



全国から強豪チームが集い
切磋琢磨する舞台

マグネットを活用しています。さらに立体模型を使い、どちらの方向に体を向けるかで視覚的に示すことで、選手たちは作戦を深く理解できます。

かつては高く上げたボールを打つ単調な攻撃が中心でしたが、今は細かなサインプレーや速いテンポのバレーが定着。指導の工夫によって、現場のバレーはより現代的なスタイルへと進化を遂げています。



高度な戦術は視覚で
確実に共有する



第30回

全日本IDバレーボール選手権大会に向けて

東京×宮城代表チームの練習試合に密着

ゴールデンウィークの2日間、東京都立葛飾特別支援学校の体育館で、東京都と宮城県のIDバレーボール代表チームによる練習試合が行われました。今回は、日本IDバレーボール連盟の運営を支える加部 務さんをはじめ、両代表チームを牽引するスタッフの方々に、練習試合の意義や8月の大会への想いを伺いました。



お互いを高め合う
代表チームの練習試合

東京と宮城の練習試合は3年前から続いています。きっかけは、全国大会の会場での出会いでした。宮城の監督から、「IDバレーをもっと盛り上げていきたいのでぜひ練習試合をさせてください」と声をかけられたことが始まりだったといいます。

日本IDバレーボール連盟の運営で東京チームのスタッフも務める加部 務さんは、この時期に試合を行う意義をこう説明します。

「8月に開催される全日本IDバレーボール選手権大会。そして、秋の全国障害者スポーツ大会に向け、チームを仕上げる重要な場です。お互いに各ブロックのトップレベルとして刺激し合うこと



日本IDバレーボール連盟 事務局 加部 務さん

が、全体のレベルアップにつながっています」。



バレーボールで育む
豊かな心と社会性

東京代表の「東京都選抜」は、2016年から2018年に全国障害者スポーツ大会三連覇を経験した強豪です。しかしその後は世代交代の時期に入り、勝てない期間も続きました。

「結婚やライフスタイルの変化で主力が抜け、若いチームに切り替わったんです。立て直しは簡単ではありませんでしたが、若手とベテランが融合し、昨年の滋賀大会でようやく4年ぶりの全国優勝を果たすことができました」。

現在、チームには10代から30代まで幅広い世代の選手が所属しています。15歳から競技を続けている38歳のベテランもいれば、次世代を担う高校生のセッターも在籍し、多世代がひとつのコートで汗を流しています。

加部さんは長年選手たちを見てきて、スポーツが持つ「人を成長させる力」を実感していると言います。

「例えば強いこだわりがあり、当初はコミュニケーションに難しさがあつた選手も、長くバレーを続けるうちに表情も言動も驚くほど柔らかくなりました。集団競技の中で周囲との意思疎通を図ることが、社会性や心の余裕を育んでいくのです」。

日本IDバレーボール連盟
<https://idvolleyball.jimdofree.com/>



東京都知的障害者
バレーボール連盟
男子部

<https://www.instagram.com/tokyoclub.vb/>



東京都選抜

今年のチームは「繋ぐ・凌ぐ」をテーマに掲げています。力任せに打ってミスをするのではなく、粘り強く拾って繋ぎ、相手のミスを誘うこと。練習試合では、新しいセッターとアタッカーのリズムを合わせることや、バックアタックの導入など、具体的な課題を持って取り組んでいます。8月の大会では結果以上に、練習で培った「東京のバレー」を100%出し切る内容を追求したいと考えています。



監督 梅沢 浩太さん



岩沼バレーボールクラブ

今年のチームの特徴は、突出したエースを置かない「全員バレー」です。粘り強いレシーブから全員攻撃で点を取るスタイルにこだわっています。チームは結成約6年。一昨年の全日本IDバレーボール選手権大会では2位という成績を取めました。現在は中学生といった若い力も加わっており、社会人メインのチームながら、幅広い世代が混ざり合い日々成長しています。8月も全員バレーでトップを目指します。



総監督 鈴木 千哉さん



東京都選抜

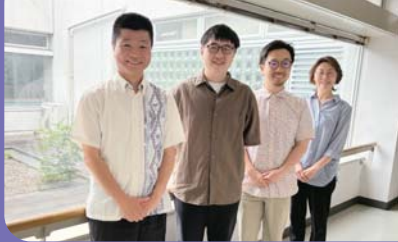
本日は普段のチーム内練習ではできない実践練習ができ、非常に有意義な時間になりました。まだサーブレシーブの乱れや、速い攻撃に対するセッターとスパイカーの連携など課題も見つかりましたが、これらは8月の大会に向けて修正していくべきポイントだと捉えています。8月の大会では「優勝」は大前提です。その上で、10月の全国障害者スポーツ大会へ繋がるよう、精一杯頑張ります。



キャプテン 上原 彰吾さん

ASDが抱える感覚の問題

数値化することで繋げる社会支援



NATIONAL REHABILITATION CENTER FOR PERSONS WITH DISABILITIES

和田 真氏

国立障害者リハビリテーションセンター研究所脳機能系障害研究部部長および発達障害研究室長。発達障害情報・支援センター副センター長。発達障害の神経基盤の解明と支援法の開発に取り組んでいる。

ASDを対象に行う“感覚”研究
そのきっかけとは

国立障害者リハビリテーションセンター研究所の脳機能系障害研究部発達障害研究室では、発達障害の人たちの生きづらさを解消するための基礎研究が行われています。2023年に自閉スペクトラム症(ASD)の感覚にまつわる研究結果を発表したほか、今年1月には味覚にまつわる研究の報告もされました。

本研究のきっかけを室長の和田真さんはこのように語ります。「私は元々、感覚の基礎研究をしていたということもあり、『コミュニケーションの苦手などに感覚処理の特徴がどのように関係しているのだろうか』といったアプローチでも発達障害に関する解像度が上がるのではないかと考えたんです。それから視覚、聴覚、触覚、味覚といった様々な感覚を対象に研究を進めてきました。

多くのASDが抱える「聴覚」問題

アンケート調査を行ったところ、困りごととして断然多かったのが聴覚の問題でした。これは「刺激をそのまま受け取る特性が関係するかもしれない」と和田さんは話します。

「定型発達の人には複数の音が来ても、過

去の経験から、頭で深く考えることなく、『注意を向ける音はこっちだ』と自動的に処理するんですね。話しているときに、エアコンの音が鳴っていても会話の音とは分離させて聞き取っているわけです。でも、発達障害の人は目の前の相手と話しているときにも、室内の音や、他の人の話し声などが同時に同じぐらいの大きさに頭で飛び込んできてしまふ。だからうまく聞き取れなかったり、疲れたりしてしまうのかもしれないと考えています」。

この特性は、聴覚だけでなく、触覚、味覚、視覚なども同様に起こっている可能性があるそうで、「情報が飛び込んでくるまま、全てをフルで感じてしまうので池袋や新宿行くと情報の大洪水ですよ。『刺激が来たまま意識が上がって

くる』という特性はこの10年以上にわたる研究で感じているところもあります」。

最新研究で分かった「味覚」について
共感性を測るスコアと脳の関連性

自閉傾向が強い人は、みたらし団子のような甘塩っぱい、エビチリのような甘酸っぱいといった混ざった味を嫌う傾向があります。これに対して「そもそも混ざった味は、どのように感じられていて、そこに個人差はあるのだろうか」と研究がスタートしました。

人間は塩味と甘味の受容体が別で、塩味は刺激があったあとすぐに味が伝達されますが、甘味は受容体に物質がくっついたあと、細胞の中で反応が起きてから味が伝わります。原理的に塩

味よりも0.2秒ぐらい伝達が遅くなるのです。そのため、自閉傾向が高い、すなわち自閉症スペクトラム指数(AQ)が高い人は、感覚を直接受け取るため食塩水と砂糖水が混ざったものを舐めたとき「塩味が先」と答えると仮説を立てて実験が行われました。

しかし結果はAQスコアに関連性は見られず、共感化傾向(EQ)スコアに相関性があったそうです。「受容体の特性通りに混合液を「塩味が先」と答える人はEQスコアが低めの人が多かったんです。自閉傾向の全体を示すAQスコアではなく、その一部ともいえるEQスコアだけが関連したのは驚きでした」。

ここで新たな仮説が生まれました。「実は味覚を感じているのは共感性とも関連する脳の島皮質という領域。そのた

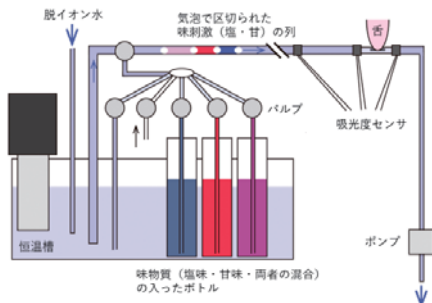
研究内容について

今回は定型発達の人の中で、自閉傾向が高い人と低い人で、塩味と甘味の感じ方の違いを(図1)の装置を使って調査しました。

実験参加者には塩味刺激、甘味刺激を正確に区別できることを確認したうえで、次に味刺激の順序を答えてもらう課題を実施。参加者には「甘味、塩味と来るか、塩味、甘味と来るか、どちらか答えてください」と伝え、そのうち3分の1の試行では、ランダムに甘味と塩味が混じった混合液を流し、どちらで答えるのかデータを取りました(図2)。

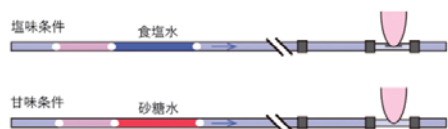
結果、共感化傾向(EQ)スコアが高い人は、混合液を「甘味が先」と回答しがちな一方、同スコアが低い人は、「塩味が先」と回答しがちでした。

出典：甘味と塩味を感じるタイミングの調整に個人差～発達特性に関連した共感化傾向との関連を確認～



(図1) 味覚刺激装置

実験参加者には、孔のあいたチューブを舌先をあてていただき、そこに流れてくる味刺激(甘味・塩味)についてボタンで答えていただきました。チューブの中には、舌先で36℃程度になるように加温した脱イオン水が常に流されており、そこを気泡で区切られた味刺激の列が流れてくるようになっていました。どのタイミングで味刺激が届いたかについては、着色された味刺激の溶液(食塩水または砂糖水)を吸光度センサにより検出しました(実際の味刺激は食紅により全て同じ赤に着色)。



(図2) 塩味と甘味のどちらかをあてる課題(味覚弁別課題)

この課題では、塩味刺激(食塩水)または甘味刺激(砂糖水)のどちらかが呈示されます。刺激の長さは、およそ0.4秒(400ミリ秒)で、刺激がどちらの味かわかった場合には、速やかにボタン押しをする必要がありました。予備実験により、食塩水(塩化ナトリウム水溶液)と砂糖水(スクロース水溶液)の濃度は、概ね同じくらいの濃度に感じられるように調整していました。なお、食塩水も砂糖水も実際には赤く着色されていました。図中の味刺激の後の薄い色は、各刺激の後、洗い流しのため少し着色が残っていたことを表しています。



国立障害者リハビリテーションセンター研究所

国立障害者リハビリテーションセンター研究所は、厚生労働省の機関。障害者の自立と社会参加を支援するため、リハビリテーション技術や福祉機器の研究開発、障害のメカニズム解明などを専門に行っています。

「『こういう理由で感覚が違う』と説明したり、啓発したりできるようなって、少しでも生きづらさの解消に役立つと嬉しいです」。



クオリティー株式会社
代表取締役 澤本 義一さん

障がい者アートではなく
ブランドとして戦う

アトリエ・アンノウンの最大の特徴は、単に障がいのある方が描いたアートを売り出す場所ではないという点です。目指しているのは、本格的なファッションブランドの確立です。ここには、マーケットからトレンドを分析するプロのデザイナーチームが存在します。

利用者の日々の活動は、自分の好きなものを自由に描くことではありません。デザイナーが提示したデザインのテーマに基づき、原画を描き上げていきます。まさに、一般のクリエイターが仕事を受注するプロセスそのものです。

『ANNOUN』のブランドの社員として働いてもらっているという感じですね。どのブランドにもコンセプトがあるように、うちのコンセプトは障がい者の絵を使っているということです。

商品は利用者が描き上げたイラストにデザインを施し、妥協なく仕上げられます。

しかし、その厳しい仕事の環境こそが、利用者たちに劇的な変化をもたらしています。最初は好きなキャラクターしか描けなかった利用者が、自分の絵がプリントされた服を着た親御さんを見て、一気にプロの自覚が芽生え、描く絵の質

面談で、本当に絵を描くことが好きかを確認し、一日中描くことが難しい場合は、はつきりと別の道を促すこともあります。甘やかすことだけが支援ではないというプロ意識が、そこにはあります。

「一般の社会人と同じで、彼らも仕事として取り組んでいるので」と澤本さんは言います。もちろん、そこにはプロとしての厳しさもあります。

アトリエ・アンノンでは、月額2万〜2万5千円の工賃を維持する保証の仕組みを整えています。また、一生懸命に取り組んだ作品ほど著名人やスタイリストの目に留まり、ドラマの衣装などに採用される傾向もあります。努力が形になるため、開所から6年間、トラブルや苦情はありません。

好きを仕事にすると
やりがいと誇りになる

が変わっていったといいます。また、20代半ばまで一度も泣いたことがなかった利用者が、働く中で初めて涙を見せたこともありました。仕事として認められる経験が、彼らの尊厳を満たしているのです。



2026年5月31日に代官山で行われたPOP-UPイベントの様子。
写真右はデザイナーの千葉 勇田さん。

最後に、澤本さんはこのように語ります。「本人のやりたいことで、社会との関わりを持ってもらいたいという気持ちが強いです。なかなか難しい部分もあると思いますが、他の事業所では静かに隔つこにいたような子が、ここに来て、生き生きと自分の絵に向き合っている。そんな生き方が、一番自然なのではないかと思うのです。」

「障がいがあるから」という枠組みを取り払い、一人の人間として、好きな環境で誇りを持って生きる。アトリエ・アンノンが体現しているのは、福祉の未来ではなく、私たちが目指すべき「当たり前前の社会」の姿そのものなのかもしれません。



就労継続支援B型事業所
アトリエ・アンノン越谷

利用者が描いた原画にデザインを施し、アパレルブランド「ANNOUN」や「announ」として商品化。越谷のほか、浦和、草加、仙台、上尾に事業所を展開。



2名様 PRESENT



ANNOUN 2026
SUMMER
COLLECTION 巾着袋
2名様

詳しくはP.31



atelier announ

障がいを持つ人たちの「やりたい」を仕事につなげる
就労継続支援B型事業所「アトリエ・アンノン」。
これまでのアート系事業所の枠を超え、本格的な
ファッションブランドとして歩むその背景と、代表・
澤本義一氏の思いに迫ります。



福祉の枠を超える アパレルブランドの挑戦

福祉の常識にとらわれない
純粋な創業の想い

障がい者福祉では、近年「アート」を取り入れる事業所も見られるようになりました。しかし、その多くが利用者の自由な創作を支援するプラットフォーマー的な役割を担う中、まったく異なるアプローチで注目を集めているのが、「アトリエ・アンノン」です。スタイリッシュで洗練された作業場は、一見すると最先端のアパレルブランドのオフィスのようにです。

代表の澤本義一さんは、元々は証券会社に勤め、福祉担当として業界に関わってきました。その経験から「障がいを持つ人たちが、自分のやりたいことを仕事にできていない」現実強い違和感を抱くようになったと言います。

「単純に、障がいを持っている人の中で絵を描くのが好きな人も多くいますし、やりたいことを仕事にしてもいいかなと思ったんです」。

そう語る澤本さんが頼ったのは、学生時代からの知り合いだったデザイナーでした。彼と組めば、アートの分野で新しい福祉の形を作れる。そうして2020年4月、この事業所をスタートさせました。

場所代無料&手ぶらも持ち込みもOK!

みんなが大満足の葛西臨海公園バーベキュー広場

Enjoy Outdoor

JR葛西臨海公園駅からは徒歩7分ほど!



ドリンクの飲み放題メニューも♪



焼きそばも楽しめる!



火起こしに挑戦!



青空とともにかんばい!

**リニューアルした
お肉のプランはボリューム満点**

お腹いっぱい食べたいご家族に一押しなのが、4月にリニューアルした手ぶらで楽しめるBBQプランです。お肉たっぷりの大満足プランだけでなく、新鮮な海の幸と一緒に味わえるシーフード付きプランも選べて、贅沢なBBQを堪能できます。

広場は緑に囲まれた開放的な空間で、心地よい自然を感じながら過ごせるのが魅力。食材の持ち込みも自由なので、みんなの「食べたい!」を欲張りに叶えられます。

BBQスタッフコメント

障がいのある方も含めて、本当にたくさんの方にご利用いただいています。ここへ来たら、ご本人はもちろん、ご家族の皆さまも一緒になって笑顔で楽しんで帰られる姿をいつも見ているので、私たちも嬉しくなります。本当に誰でもウェルカムな場所ですので、ぜひ気軽に遊びに来て下さいね!

葛西臨海公園バーベキュー広場
スタッフ 海野 裕司さん



インフォメーション

葛西臨海公園 バーベキュー広場
東京都江戸川区臨海町6丁目2
お問い合わせ専用TEL:03-6808-5701(受付時間 9:30~16:00)
営業時間 【通年】
全日 10:00~16:00
【GW期間】
全日 10:00~16:00/17:00~21:00
【5月・6月・10月】
平日 10:00~16:00
土日祝日 10:00~16:00/17:00~21:00
【7月~9月】
全日 10:00~16:00/17:00~21:00
電話またはWebサイトから予約可能!
※葛西臨海公園には他に「SORAMIDO BBQ」がございます。
ご予約の際は間違えないよう、ご注意ください。



Kasai Rinkai Park

Barbecue

おさんぽ DE 楽しむ!



葛西臨海公園

~自然を感じる開放的な空間!~

葛西臨海公園で 手ぶらBBQを満喫

海を臨む緑豊かな「葛西臨海公園」は、家族みんなで笑顔になれるお出かけスポット。
今回は夏空の下、手ぶらでも持ち込みでも誰もがワイワイ楽しめる、
大人気の「バーベキュー広場」の魅力をお届けします!



夏の思い出作りにぴったりな「葛西臨海公園」へ行くこう!

東京湾を一望できる緑豊かな「葛西臨海公園」は、水族園や芝生広場、大観覧車などが集まる、お出かけにぴったりのスポット。

夏空の下、特におすすめなのが園内の「バーベキュー広場」。場所代は無料! 機材や食器、ゴミ処理まで全てセットになった「手ぶらプラン」(お一人様3900円)のほか、お気に入りの食材を自由に持ち込むスタイルも大人気。

4月にリニューアルした「お肉とシーフードのプラン」は、新鮮な海の幸とお肉がたっぷりで大満足のBBQになること間違いなし。ご家族みんなで、ワイワイ楽しい夏の思い出を作りに行きませんか?

追いかけていたはずが、息子の成長により 追いかける側になっていた今日この頃。



シンママ まると息子の 成長記録 VOL.8 MELDIA Total Support

好評
発売中!

メルディア初のガイドブック

発達障害のお子さんを初めて育てる親御さんに向けた、
発達ガイドブックが好評発売中!
多くの方に役立つガイドブックとなっています。

メルディア ウェルネス
MELDIA WELLNESS

お問い合わせ
東京都新宿区大久保2-5-22
セキサクビル7F
TEL : 03-6302-1871

志士ノ まる フリーランスデザイナー
の他、イラストレーターや漫画家として
活躍するシングルマザー。長男のリユウ
くんは自閉症であり、軽度知的障がい
でもある。まる著「シンママのはじめて育児
は自閉症の子でした」(KADOKAWA、
2022年)好評発売中。



(左) X (旧Twitter)
<https://x.com/shishishimr>
(右) Instagram
<https://www.instagram.com/maru.manga/>





「誰でも頼れるテクノロジ」 普及前のアナログな生活

これは息子の麗良の用事でも、仕事にしても共通しているように思います。冊子から当時の文章を抜粋（一部要約）すると「昨日は麗良の学校へ行き、授業を2時間程立ち会って教室で過ごした」「2学期が始まった。防災の日なので、校庭に息子を迎える引き取り訓練に行き、作ったお弁当を息子に渡して学童へ行く後ろ姿を見送り、その足で事務所での

だな、またよく出掛けていたのだな、と感じます。

打ち合わせに向かった「レコーディングを全て終えて今朝5時帰宅」など、毎日が用事で溢っていました。

もちろんこの頃、息子がまだ学校に通っていた時期だったという事、また私がシングルマザーである事が重なって、この忙しさの要因を作っていた部分はあったと思います。しかし、もう少しクローズアップして探ってみると、この頃は先述した「誰でも頼れるテクノロジ」がまだ発展途中だった事から、私達は幾分アナログ的な生活をしていて、のだと思います。そして、不思議と忙しさを煩わしく思う事はありませんでした。



M Size
はじまり
～Again～
VOL.74

時には思い通りにいかなくても。
大切にしたいものは、限り有る「人間的なもの」

シンガーソングライター 水越けいこ

ブログを開始した時の
文章を読み返してみる

二十数年前を振り返ってみます。あの頃と現在の大きな時代の違いは「誰でも頼れるテクノロジ」がここまで進化したことなのではないでしょうか。当時、インターネットは在りましたが、SNSという言葉は使われていませんでした。スマートフォンも無く、皆でガラパゴス携帯をバコバコと操っている時代でした。AIはもちろんありませんでした。

ちょうどその頃、私は事務所の移籍があり、ホームページを一新して貰ったのですが（当時はアーティストのホームページのクオリティーも全体的に上がってきた時代でした）、そのサービスの中で、日々のあれこれを載せるブログを展開する事になりました。ちなみにそのブログは現在でも続いています。

その後、そのブログのスタートからおおよそ1年間の掲載をまとめ、ファンクラブの会員特典用に、冊子という形で作品にした事があります。薄いオレンジとピンクを混ぜたような淡い色の表紙になり、デザインも私好みになりました。今でも、たまに手に取り読み返しています。

その冊子に載せた文章、つまりブログに載せた文章の内容を読んでもみると、何だか毎日を慌ただしく過ごしていたの

便利な時代にこそ、時間や
労力を費やすと見えてくるもの

現在では、打ち合わせを行う時、わざわざ相手の会社に向いたり、どこかの喫茶店で待ち合わせなくても、スマートフォンやパソコンがあれば、その代替を果たす事が出来ます。また、子供達が学校で過ごしている姿を、教室に設置したカメラから配信し、保護者がその様子を知る事が出来ます。レコーディングでは、音源をデータでやりとりする事がスタンダードとなり、録音のセーブ機能が上がったので、徹夜で朝まで作業を続ける事も減りました。

ついにはAIが数秒で作詞作曲をするようになりました。「一見すると」とても便利な時代になりましたね」という事なのですが、私は手放しで喜べない部分もあると考えます。

アナログ的に時間や労力を費やして、何かを追求したり、楽しもうとすると、時には思い通りに物事が進まなかったり、無駄が出来てしまう事もあるでしょう。しかし、そのように自然体で出来る事をしようとする姿勢こそが「誰でも頼れるテクノロジ」いっぱい時代を生きる為に、とても大事なのではないでしょうか。

その冊子のあとがきに、こう記しました。「昔、学生時代カギ付きの日記帳を



水越 けいこ

シンガーソングライター。1978年「幸せをありがとう」でデビュー。TBSの朝の情報番組「8時の空」に田中星児と共にレギュラー出演。その後、「ほほにキスして」「Too Far Away」がヒット。現在はダウン症を持つ息子・麗良と2人暮らしをしながら音楽活動と講演活動を行っている。

<https://ameblo.jp/keiko-mizukoshi/>





メルディアライフネスト浦和
管理者／臨床心理士 田中 庸介

「2026年6月1日、念願のメルディアライフネスト浦和が開所しました。管理者で臨床心理士の田中庸介氏は、嬉しそうに語り始めます。

同事業所はスケルトンから内装を設計。スペースの割り振りから全体の印象、利用者さんの動線にいたるまで、プロの視点で1からアイディアを出し合い、こだわり抜きました。

明るく清潔感のあるメインフロアは、あえてスペースを贅沢に使った余白を意識。初めて利用する方の緊張や不安を和らげるための配慮です。

「閉塞感をなくし、心からリラックスできる空間を目指しました。特に、目に入りやすい床に安心感をもたらす緑を選んだのもそのためです。外からは中が見え

**1からこだわって設計した
安心して過ごせる空間**



づらい構造で、プライバシー面も安心です。

フロア内の机は全て個別席を採用しており、プログラムに応じて柔軟に配置を変えられます。グループワークの際、みんなで机を動かして席を作っていく共同作業そのものも、創造性やコミュニケーション力を育む大切な機会になります。

**多職種の専門家による
オーダーメイド支援**



日々のプログラムに加え、同事業所が最も重視しているのが週に1回必ず実施する個別面談です。

「二人ひとりの状態を把握した上で、次の一週間に何をするかを一緒に決めていきます。毎日の日誌もスタッフ間で共有し、ご本人の特徴に合わせてプログラムのプランを検討するなど、オーダーメイド支援を徹底します」。

これを支えるのが、6名体制の専門家チームです。心理士や社会福祉士、精神保健福祉士、看護師、そして就労支援のスペシャリストが揃います。

「多職種が連携し、生活リズムの改善からメンタルケア、最終的な進路選択までをトータルにサポートで

きる体制は、他にはない大きな特徴です。

この一貫した支援体制は、地域の医療機関やハローワークなどからも、「こまでしっかり構成されたプログラムを持つ事業所は少ない」と高い評価を得ています。

「ありがたいことに、開所直後から多くの方々に期待の声をいただいています。これから地域を盛り上げていけるよう、全力で頑張っていけます」。そう結ぶ田中氏の言葉は、新たな一歩を応援するような、あたたかな力強さに溢れていました。

**新しい就労移行支援施設を
新宿にも年内に開所予定**



メルディアライフネスト浦和
〒330-0073 埼玉県さいたま市浦和区元町3-4-6
メゾンモンブラン 1F
<https://mlda.jp/mln/>



メルディア事務局長
永野 周平

そっくり新宿へ持っていきます。東西に拠点を置くことで八王子方面などからも通所しやすくなりますし、ウェルネスのカウンセリングから徒歩圏内の新宿でスムーズに福祉サービスにお応えできるようなります。閉塞感のない広々とした環境も支援の一部です。皆様が次の一歩を踏み出す上で、非常に大切な場所になると確信しています」。

MELDIA LIFE NEST

メルディアライフネスト

一般財団法人メルディア
Meldia Foundation

私の人生は、私が創る。
MELDIA
LIFE NEST

生活力を育み、自分らしい進路を見つける

自立訓練(生活訓練)事業所

「メルディアライフネスト浦和」がスタート

2026年6月、ついに開所を迎えた自立訓練(生活訓練)事業所「メルディアライフネスト浦和」。

こだわりが詰まった新施設の全貌とともに、どのような環境で、どんな丁寧なサポートが行われるのかを取材してきました。



あたたかみのあるテーブルと、明るくカラフルなチェアが並ぶフロア。



状況や好みに応じて柔軟に空間を選べるよう、ソファ席も隣接。



圧迫感をなくし空間を贅沢に使った、落ち着いた面談スペース。



受付は高さを低めに抑え、隙間を作ることで圧迫感を減らしている。



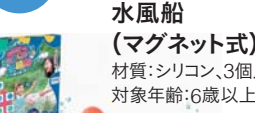
プログラムや日々の連絡を共有する、壁一面のホワイトボード。



路面からもパッと目を引く、大きなメルディアのロゴが入り口に。

PRESENT

メルディア74号をご愛読いただきありがとうございます!今号も感謝を込めて、日常を彩る素敵なアイテムを厳選しました。
誌面の感想や応援メッセージを添えて、ぜひ奮ってご応募ください。皆さまからの温かいお声をお待ちしております。

A 計4名様  KIRARIオリジナルグッズ 缶バッチ、ハンドタオル、ハンドミラー、 トートバッグいずれか1点 ※種類は選べません ※トートバッグサイズ 横20×縦30×10cm	B 1名様  デュアル・セアリー オリジナルTシャツ	C 2名様  ANNOUN 2026 SUMMER COLLECTION 巾着袋	D 1名様  ※画像はイメージです ハンディファン(Sunfra) 奥行40×幅30×高さ180mm、 冷却プレート付き、 USB充電Type-C対応
E 1名様 ※画像はイメージです  キッズ プリント カメラ 4800万画素・1080p(HD)動画、2.0イン チ大画面、21種類フォトフレーム・タイ マー有、付属品:USB充電ケーブル×1、 感熱紙ロール×6、ストラップ×1、32GB メモリカード×1、日本語取扱説明書×1	F 1名様 ※画像はイメージです  超軽量 ねんど 72色、粘土ツール×3付、年齢: 6歳以上	G 1名様 ※画像はイメージです  ブロックパズル(TAETOE) 材質:木材、問題カード付、対象年齢: 3歳以上	H 1名様 ※画像はイメージです  水風船 (マグネット式) 材質:シリコン、3個入り、 対象年齢:6歳以上

応募方法

右のQRコード※から必要事項をご記入の上、ご応募ください。当選者の発表は、
賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。

**8月31日
(月)
締切**



お問い合わせはこちら

〒169-0072
東京都新宿区大久保
2-5-22セキサクビル7F
一般財団法人
メルディア 宛て
TEL: 03-6302-1871
MAIL: org@mlda.jp

ホームページ
一般財団法人 メルディアの
ホームページでは当財団の
取り組みやイベント情報を掲
載しています。X(旧Twitter)
では湘南ベルマーレ観戦チ
ケットプレゼントやスポーツ
支援情報を発信しています。
是非、ご覧ください。

X(旧Twitter)
https://x.com/gf_meldia

ホームページ
<https://mlda.jp>




一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

MELDIA

つなぐ

vol.74 MELDIA 2026 JUL.

発行元/一般財団法人 メルディア

広報誌MELDIA Vol.74/2026年7月25日発行
本誌の無断転載・複製を禁じます。
2017-2026©All Rights Reserved.
一般財団法人 メルディア/広報誌MELDIA



次号予告

MELDIA vol.75

2026年9月25日 発刊予定

一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-22
セキサクビル7F
一般財団法人 メルディア
TEL:03-6302-1871

MELDIA

障がい当事者、ご家族に直接届く 広報誌メルディアに 広告を掲載しませんか?

求人やPR記事を始めたタイアップ記事、
4分の1ページ広告など広告主様のニーズに応じた
様々な広告メニューをご用意しています。
詳しくは下記よりお気軽にお問い合わせください。

障がい者を支援する企業様を応援します

広報誌「MELDIA」(以下、メルディア)は2017年11月に創刊以来、知的障
がいや発達障がいの当事者、そのご家族や支援者に向けた情報誌として、
多くの方々に愛読されています。当事者へのインタビューに加え、障がい者
を直接支援する施設や、医療に関する特集、おでかけ情報が満載で、継続
して購読される方が多いのも大きな特徴です。そうした方々にダイレクトに
手元に届くメルディアは、障がい福祉業界に向けた広告と
しても大きな効果が期待できる媒体です。障がい者支援
を展開する企業様の情報発信ツールとしてメルディアを
ぜひ活用していただき、購読者様の助けになる情報をさら
に発信していければと思います。



発行エリア: 1都6県を中心とした全国
発行日: 奇数月25日
発行部数: 30,000部/号
※号によって異なる場合があります。

仕様: A4版、中綴じ、右開き、全4C、約32頁構成

流通方法: ・障がい福祉事業所:30%
・個人宅:20%
・特別支援学校:10%
・その他40%

広告の掲載冊子200冊および
掲載記事PDF データ(二次利用可)を提供。

一般財団法人 メルディア
Meldia Foundation

詳しくは
お問い合わせ
ください

03-6302-1871

〒169-0072 東京都新宿区大久保2-5-22セキサクビル7F
MAIL:org@mlda.jp URL:https://mlda.jp

